



第 1 4 7 号

溝内 啓介
KCCN 理事
コンシューマーズ京都事務局長

秋の京都消費者大会「地球暑すぎませんか？」を開催

****2026 年秋の京都消費者大会を開催しました**

—テーマ「地球暑すぎませんか？」若者とともに未来の京都を描く—**

2026 年 9 月 26 日(土)13 時30分～16時、京都生協コープ御所南ビル会議室及びオンラインにて、2026 年秋の京都消費者大会「地球暑すぎませんか？」をコンシューマーズ京都主催、京都府生協連、京都府地球温暖化防止活動推進センターの後援により開催しました。

近年深刻化する猛暑・豪雨などの異常気象を背景に、京都で進められている脱炭素の取り組みを学びながら、「30 年後の京都はどんなまちになってほしいか」を参加者とともに考える場として企画したものです。会場には 19 名、オンラインには 11 名が参加し、若者と市民がともに未来を語り合う充実した大会となりました。

第 1 部①:基調講演「脱炭素型のステキな京都」

京都府地球温暖化防止活動推進センター事務局長であり、コンシューマーズ京都監事でもある川手光春さんが、再エネ導入の地域的メリットや福知山市などの先進事例、2050 年の未来像などを紹介しました。アンケートでは「大変満足」「満足」がほぼ全員を占め、「再エネと地域課題の相性が理解できた」「未来の映像が分かりやすかった」といった声が寄せられました。

一方で、「京都市の現状にも触れてほしい」「個人でできる具体例をもっと知りたい」といった改善提案もありました。

第 1 部②:インターン生報告「地球を冷まして未来を温める」

2026 年夏のインターン生が、短期間の学びを凝縮した報告を行いました。「若い人が真剣に考えている姿に希望を感じた」「使い捨て文化から再活用文化への転換が分かりやすい」と肯定的な声が多く寄せられました。一部には「紙資料があれば理解が深まった」という意見もあり、次回以降の改善点として共有されました。

第 2 部:学生とのグループトーク

3 グループに分かれて、大学生・インターン生と参加者が感想や意見を交流しました。「若者が何を考えているのか分かって楽しかった」「いろいろな工夫をしている人の話が聞けた」「学生コーディネーターが上手に進行していた」と高い評価が寄せられました。一方で、「テーマが広く実践報告の時間になった」「『30 年後の京都』をもっと深めたかった」という声もあり、今後の企画づくりに活かせる示唆となりました。

〈次のページへつづく〉

心のこもったおもてなしも好評

会場では、急須で淹れたお茶、手作りのお菓子、ふかしたお芋などが提供され、参加者から「とても心のこもったおもてなしでした」「コンポストで育てたお芋や里芋のおだんごが嬉しかった」と温かい声が寄せられました。

まとめ：未来への希望を共有する大会に

参加者からは「地域の取り組みを知ることによって希望が持てた」「若者と話すことで新しい視点を得られた」など前向きな感想が多く寄せられました。脱炭素の取り組みが地域の活性化につながることで、市民が主体となって未来を形づくる重要性が共有され、今後の活動への大きな励みとなる大会となりました。

以上

(2026年10月)